

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2025年 1月29日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	3号機	中央制御室煙感知器連動防火ダンパー(No. 45)において、動作不良(換気空調系起動時の振動で閉動作)が認められたため、当該ダンパーを点検・修理。 なお、当該ダンパー動作時に火災・煙の発生なしを確認している。	G III	1月27日
2	4号機	換気空調系原子炉建屋給排気隔離弁点検用架台の手摺及び作業床において、腐食による破損が認められたため、当該架台を点検・修理。 なお、修理完了まで当該場所への立入り禁止の区画及び注意喚起を実施。	G III	1月26日
3	3・4号廃棄物処理設備	低電導度廃液系ろ過器逆洗水タンク液位発信器(B)において、低電導度廃液系の処理中に指示不良及び「LCWろ過器逆洗水タンクB液位異常」警報発生が認められたため、当該事象の原因調査・対策検討。 なお、当該機器は通常の廃液処理に使用するものではないため、現時点で廃液処理への影響はない。	G III	1月24日
4	3・4号廃棄物処理設備	放射性ドレン移送系シャワードレンサンプポンプ(B)運転確認時において、動作不良(汲み上げせず)が認められたため、当該ポンプを点検・修理。 なお、シャワードレンサンプポンプ(A)にて排水可能であり系統機能に影響はない。	G III	1月27日